

平成25年度 四国横断自動車道 吉野川渡河部の環境保全に関する検討会
第3回検討会での質問に対する回答について

第3回検討会では傍聴者の方々から意見・要望を頂きました。

○意見・要望－1

しらさぎ大橋と吉野川大橋の間にある住吉干潟に冬鳥としてのハマシギ、ダイゼン、シロチドリ、ミユビシギでも少なくなった。さらに旅鳥としてのオオソリハシシギ、オバシギなどは住吉干潟にほとんどはいらなくなった。これは阿波しらさぎ大橋環境アセス資料中にも明らかに少なくなり原因が明らかでだけでは、渡河橋ができてシギチが少なくなった。ホウロクシギが見られなくなったではすまされない。

◆回答－1

橋梁整備を行うにあたっての環境保全対策について、これまでの検討会・各部会の中で十分に検討してきたものと考えており、その結果に基づき環境保全対策を進めていく予定としております。なお、影響監視につきましては、今後、実施する環境モニタリング調査を、委員からのご指導・ご助言を頂きながら、しっかり行っていきたいと考えております。

○意見・要望－2

ホウロクシギ、その他のシギチ数の資料を提出できるよう野鳥の会で検討します。

◆回答－2

ご提案ありがとうございます。本検討会でも議論があったように、まず、一般の方々のデータを活用する仕組みを検討する必要があることから、委員からのご指導・ご助言を頂きながら、これらの検討を行っていきたいと考えています。

○意見・要望－3

阿波しらさぎ大橋の先行事例として、みならっていただきたいこと。

①調査データのwebによる公開。

②専門家や部会の定期的開催と公開議論および市民意見等を反映できる仕組み。

③鳥類(特にシギ・チドリ)と橋の影響については、しらさぎ大橋では確実に負の影響をうけていることが明らかだと思えます。しらさぎ大橋データを再度、客観的に読み込んでいただきたいと思えます。鳥だけではなく、河口の連続性を。

◆回答－3

(ご意見①について)

調査データを含めた検討会資料の公開(Web含め)については、検討会・環境部会にて検討していきたいと考えています。

(ご意見②について)

今後の検討会・部会の開催予定につきましては、本検討会の説明資料P30～32 (<http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h26/0325/pdfs/1-04.pdf>) に示しております。ご確認くださいだけたらと思います。

また、公開議論及び市民意見等を反映できる仕組みに関して、本検討会では、一般公開による議論・一般傍聴者の質問受付、その回答をHPで掲載するなど、透明性の確保を図っているところです。ご理解のほどよろしく申し上げます。

(ご意見③について)

本検討会では、先行事例である阿波しらさぎ大橋建設事業の調査結果を詳細分析したうえで、渡河部の環境保全対策の議論を行っております。また、今後、参考となる調査結果等につきましては、これまで同様に詳細分析のうえ、検討会・部会での必要な議論を行っていきたいと考えています。

○意見・要望－4

阿波しらさぎ大橋の反省。

事前調査なしに影響評価があいまいであり、モニタリングを苦勞されたことです。

◆回答－4

今後の検討会・環境部会において、委員からのご指導・ご助言をいただきながら、計画的な環境モニタリング調査計画を立案していきたいと考えております。

○意見・要望－5

この調査（阿波しらさぎ大橋の調査）は、国内外で評価が高いので役立てていただきたい。

◆回答－5

先行事例である阿波しらさぎ大橋建設事業における環境モニタリング調査のデータは、これまでと同様に、検討会・部会での議論に活用していきたいと考えております。
